

障がい学生 支援制度



案内パンフレット



Doshisha, Challenged Assistance for the Right Education

Do, CARE

 DOSHISHA UNIVERSITY

障がい学生支援制度

障がい学生支援制度とは

本学に在籍する障がいのある学生（Challenged）が、他の学生と等しい条件の下で学生生活を送れるように、講義保障を中心に様々な支援を行う制度です。本学では Challenged と彼らを支援するスタッフの自律的成長に着目し、その成果を再びコミュニティに還元させることを目指しています。

障がい学生支援室とは

障がい学生支援室には、専属のコーディネーターが常駐しており、障がいのある学生の学生生活支援を行っています。具体的な支援としては、学生サポートスタッフによる講義保障を中心に、パソコン通訳（以下、PC通訳とする）やノートテイク、代筆、車椅子介助、食事介助など障がいの種別や程度に応じた支援を行います。

この他、支援室では、学内諸部署、他大学及び学外団体・機関との連携、協力を進めるとともに、各種シンポジウムへの参加や学会、大会へのPC通訳派遣などの社会貢献活動も幅広く行っています。



言葉の説明

Challenged

アメリカでは、「障がいのある人」のことを Challenged（チャレンジド）と呼ぶことがあります。「神様からチャレンジという使命を与えられた人」「自分の課題に向き合う力が備わっている人」と、障がいをマイナスと捉えずポジティブな意味ももちます。

「障がい」

本学では文字表記を「障がい」と統一しています。

講義保障

障がいのある学生が希望するすべての授業について、他の学生と同じレベルで受講できるように保障することです。

サポートスタッフ

常時登録を受け付けています。

お気軽に障がい学生支援室までお問い合わせください。

障がい学生の支援活動にあたる者の呼称です。本学学生を中心に一般の方も活動しています。障がい学生の希望するサポート内容に応じて、スタッフの募集・登録を行い、1 Semesterごとに活動をしています。



「Do, CARE」 とは



「等しい条件の下で教育を受けられる同志社大学障がい学生支援」という意味と頭文字のCAREに「思いやり」という意味を込めています。



Doshisha, Challenged Assistance for the Right Education の頭文字をとったもの。



その二つの意味を両手で包み込み、支えることを同志社大学障がい学生支援室は目指しています。



支 援 を 受 け る に は

※ 4月からの大学生活を順調にスタートさせるために、支援を希望される方は3月中の相談をおすすめします。

※ 講義保障は在大学生を対象としており、可能な範囲でサポートします。

障がい学生支援室に相談

支援（P. 3 参照）を希望する学生は、あらかじめ障がい学生支援室まで連絡して下さい。コーディネーターが相談に応じます。

（できる限り入学までにご相談ください）



支援制度に登録

学生本人、障がい学生支援室、学部・研究科事務室、関連部署でどのような支援が必要か協議します。

支援制度を利用することが決定した場合は、「支援制度利用学生登録書」の提出をもって、障がい学生支援制度への登録が完了となります。

注：PC 通訳などの授業に対する支援は希望されず、障がい学生対象のキャリア・就職などに関する情報提供のみ希望される場合も、制度登録が必要です。

入学後に障がい学生支援室までお越しください。

注：「障害者手帳」等をお持ちの方はご提示ください。



支援開始

支援活動の内容・種類

障がい別に分類したもの

支援活動用語 の説明

PC 通訳とは …………… 授業の内容やその場で起こっていることをパソコンに打ち込んで伝えること
ノートテイクとは …………… 授業の内容やその場で起こっていることを文字にして伝えること
テキストファイル文字校正とは …… スキャナーで読み取ったテキストや資料の校正をすること
映像文字起こし・字幕付けとは …… 講義で使用する映像教材の音声文字化し、映像に字幕をつけること

聴覚障がい

PC 通訳、ノートテイク、手話通訳、映像文字起こし、字幕付け、消耗備品の支給（ルーズリーフ、ペン）

●各種機器貸出

- 【録音機器】 ICレコーダー、テープレコーダー
- 【PC 関連】 PC 通訳用ノートPC 一式、フラッシュメモリ
- 【その他】 磁気ループ、卓上ペンライト、遠隔支援機器 (iPad など)



PC 通訳の様子

視覚障がい

講義資料・試験問題などの電子データ化・拡大コピー、点訳、対面朗読、代筆、代読、ガイドヘルプ（学内移動）、点字機器・拡大読書器等の利用、点字室・対面朗読室の利用、受講時の配慮（教室の着席位置等）

●各種機器貸出

- 【録音機器】 ICレコーダー、テープレコーダー
- 【PC 関連】 音声認識PC
- 【その他】 携帯用拡大読書器、携帯用点字板、高倍率ルーペ、単眼鏡、卓上蛍光灯



点字辞書

肢体不自由

代筆、車椅子介助（学内移動）、トイレ介助、食事介助、車両の入構及び駐車許可、ストレッチ用休憩室の利用

●各種機器貸出

- 【録音機器】 ICレコーダー、テープレコーダー
- 【介助用】 手動式車椅子、ストレッチ用マット、シャワーチェアー、車椅子用机、スツール、毛布、電動ベッド
- 【PC 関連】 入力補助器具（携帯電話型、スティック型、ボール型）



代筆の様子

内部障がい等

ガイドヘルプ（学内移動）
車両の入構及び駐車許可、学内シャワールームの使用
受講時の配慮（教室の着席位置、途中入退室の許可）
各種機器貸出（タブレット端末など）等



身障者用駐車場

※上記以外の障がいについては、必要に応じて支援内容を相談します。

あなたもサポートスタッフとして活動してみませんか！

障がい学生支援室では常時サポートスタッフの登録を受け付けています！
 学生の皆さん、サポートスタッフとして活動してみませんか？
 関心のある方は、お気軽に障がい学生支援室までお問い合わせください。



このような活動をしています (一例)



障がい学生支援

PC 通訳、ノートテイク、手話通訳、映像文字起こし、字幕付け、車椅子介助、代筆など

◀ ノートテイク



学生によるスキル向上勉強会などの実施

PC 通訳、ノートテイク、映像文字起こし、字幕付け、車椅子介助、代筆などに関する入門講座、フォローアップ勉強会などの実施

◀ PC 通訳勉強会



社会連携及び学内イベントの企画・実施

オリエンテーション、新入生歓迎会、学期末懇談会、寒梅館夏祭り、学外団体との共催・協力など

◀ 新入生歓迎会

障がい学生支援活動に対して謝礼が支払われます

- 支援内容によって、時間のコントロールがかわります。
- サポートスタッフ学生には、学研賠（学研災付帯賠償責任保険）の加入手続きを本学が責任をもって行います。

(※) 一般スタッフの謝礼は、
 手話通訳は 1,335 円/時間
 PC 通訳は 1,024 円/時間
 それ以外は学生スタッフと同じになります。

支援活動の内訳	
支援活動の内訳	学生スタッフ謝礼
手話通訳 (※)	890 円/時間
PC 通訳 (※)	
ノートテイク・代筆	
テキストファイル文字校正	
映像文字起こし・字幕付け	
点訳・資料拡大・電子データ化	
車椅子介助・食事介助	
ガイドヘルプ・対面朗読・代読	
フォローアップ勉強会等講師	

利用学生の声

私 は生まれつき耳が全く聞こえず、毎日障がい学生支援室にお世話になっています。パソコン通訳やノートテイクの支援では、スタッフの方々が先生の話の重要なポイントをできるだけ漏らさずに伝えようと真剣になってくれます。

先生が面白い発言をした時やその発言に対し学生達が笑う様子等、授業の雰囲気までユーモアたっぷりに伝えてくれる人もいます。そのおかげで、授業がよく分かるだけでなく、楽しい授業の雰囲気に自然と入ることができました。

支援を受けたことをきっかけに、プライベートでも仲良くなったスタッフもいます。先輩後輩関係なく、一緒にご飯を食べたり、家に遊びに行ったりする等、授業以外の大学生活も充実しています。

(聴覚障がい 生命医科学部 2 年次生

受けているサポート内容 : PC 通訳、ノートテイク、文字起こしなど)

入 学が決まった当初、移動や施設面など新しい環境への不安を多く抱えていました。ですが、コーディネーターさんをはじめとする職員の方々との入念な打ち合わせのおかげで、自分にあった最適な支援を受けることができ、安心して大学生活をスタートすることができました。

休憩時間の移動時にはサポートスタッフと共に居て、授業時にも車イス専用机に座っているという私の状況は、友達ができにくいと言えるかもしれません。

ですが、その代わりに様々な学年・学部のサポートスタッフとの交流の機会が多く、彼らから興味深い話を聞けることは有意義で楽しいです。

また、サポートを受けることや他の障がい学生の方々との交流を通じて「障がいとは何なのか」といったことを考える機会を得られ、自分の障がいと向き合うことが出来るようにもなりました。

こういった機会を与えて下さり、私の要望に真摯に向き合って下さっている職員、スタッフの皆さんには本当に感謝しています。

(肢体不自由 経済学部 2 年次生 受けているサポート内容 : 移動介助)



学生サポートスタッフの声

「空 き時間で自分に出来ることを」と思い1年次の秋に登録しました。無理はしないと心に決めていたので、車椅子介助と代筆のみサポートに入っています。介助や代筆も特別なスキルが必要な支援ではありませんが、臨機応変な対応が求められる点では変わりなく、有意義な経験をさせて頂いています。また、支援を通じて得た交友関係の広がりもあり、充実した学生生活を送っています。

(文学部2年次生 行っているサポート活動：車椅子介助、代筆)

私 は入学前から大学のパンフレットでこの支援制度を知り、ぜひスタッフとして活動してみたいと思っていました。実際に登録してみて、非常に充実した支援体制に感動すると同時に、今までは気づけなかったけれど、障がいのある学生がいかに不十分な環境下でしか教育を受けることができなかったのか、ということに気づかされました。

支援室のメンバーは気さくな人が多く学部・学年を超えて仲良くなることができ、何よりオープンな雰囲気がとても楽しいです。普段どおりに生活していると気づかないことも多く学べ、大学生活がより充実していると思います。

(生命医科学部1年次生 行っているサポート活動：PC通訳)

障がい学生の立場に立って

責任をもって支援活動に取り組んでくださる方を募集しています

サポートスタッフには**スタッフジャンパー**をお渡しします。

障がい学生支援制度の周知及びスタッフとして活動していることを示すため、活動時に必ず着用してください。

「Do, CARE」とは

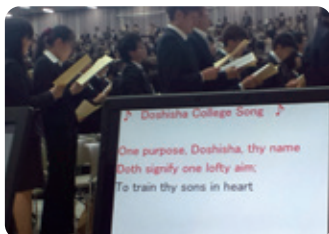
Doshisha, Challenged Assistance for the Right Educationの頭文字をとったものであり、「等しい条件の下で教育を受けられる同志社大学障がい学生支援」という意味です。また、頭文字のCAREは「思いやり」という意味を込めています。その二つの意味を両手で包み込み、支えることを同志社大学の障がい学生支援室は目指しています。



障がい学生支援制度の一年

ようこそ、チャレンジド・ラーニングの世界へ

- 春学期始め・入学式
- オリエンテーション



■ 春学期末試験

▲入学式

- 寒梅館夏祭り



■ 秋学期始め



▲秋学期末懇談会

- クリスマス燭火讃美礼拝



■ 秋学期末試験

- 卒業式

4



5



6



7



8



9



10



11



12



1



2



3

- 春学期前面談
- 障がい学生支援制度説明会及び入門講座
- 春学期登録会および利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会
- 新入生歓迎会

- フォローアップ勉強会 (春学期、5～7月)

- 教職員研修会



▲春学期末懇談会

- 春学期末懇談会*

- 複合領域科目 『「コミュニケーションのバリアフリー」を考える』 (「障がい体験」授業含む)

- Challengedキャンプ* (2泊3日)

- 秋学期前面談

- 秋学期登録会および利用学生・サポートスタッフ顔合わせ会

- インテーク面談(キャリアセンター)

- フォローアップ勉強会 (秋学期、10～12月)



▲複合領域科目

- 障がい学生対象 就職ガイダンス

- 教職員研修会

- クリスマス礼拝 手話通訳

- 秋学期末懇談会* 交流会



▲Challenged キャンプ

- 新学期準備集中講座

※Challengedキャンプとは：一人ひとりの障がい体験を通じた各種障がいへの理解と自分自身の心のバリアと向き合うことにより心身ともに成長することを目的としたキャンプです。そこでの学びを今後の社会生活に広く活かすことを目指しています。

※学期末懇談会とは：制度を利用する「障がい学生」「サポートスタッフ」「教職員」が一堂に会し、現場の声を出し合って制度の充実を図る目的で毎学期末に開催しています。

キャリア形成・就職支援について

キャリアセンターでは、就職活動の支援だけでなく、学生生活を有意義に過ごし、そこから人生を考えてもらえるよう、職業観醸成を目的として、早期の段階からさまざまなプログラムを実施しています。すべての学生が、建学の精神である「良心を手腕に社会で活躍する人材」となってもらえるよう、創立者である新島の「人ひとりを大切に」という言葉を胸に、個別の相談を通じて、学生の個性を重視したサポートを実施します。

個別相談

低年次から将来の進路について、相談を受けています。
経験豊富なスタッフをキャリアセンターに配置しておりますので、気軽に立ち寄ってください。

キャリア形成支援（低年次向け）

- ① キャリア体感プログラム
- ② キャリア発見セミナー
- ③ インターンシップ
- ④ その他

キャリアセンターでは正課科目との連携により、職業観醸成の効果を高めていますので、キャリア形成支援科目群の登録を推奨しています。

就職支援

- ① 就職関連ガイダンスの実施
- ② 各種セミナーの実施
- ③ 就職相談
- ④ 企業・団体の紹介
- ⑤ 各種情報（学外・学内）の提供

セミナーなどの情報は、「e-career」(<http://career.doshisha.ac.jp>) に掲載しています。
また、参加にあたって、サポートが必要な場合は、事前にキャリアセンターまで相談してください。
ただし、内容によっては、サポートできない場合もあります。

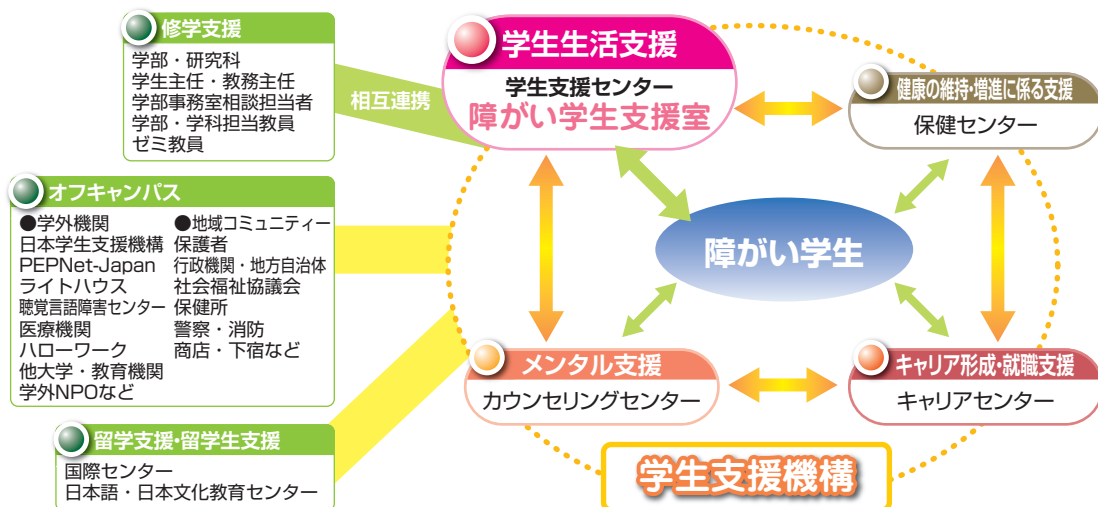
キャリアセンターで行うプログラム

学年	1年次			2年次			3年次			4年次		
	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期	春学期	夏休み	秋学期
目的	大学に慣れる		人生観・職業観の醸成、自己効力感への意識付け						就職活動準備～就職活動～内定後フォロー			
プログラム（正課）			キャリア形成支援科目の履修						インターンシップ			
プログラム（課外）		キャリア体感プログラム	自己発見セミナー、キャリア発見セミナー		キャリア体感プログラム	自己発見セミナー、キャリア発見セミナー		キャリア体感プログラム	仕事研究・業界研究 企業研究 障がい学生対象「就職ガイダンス」		内定者フォローの開始	内定者体験談
狙い	支援内容方針を伝える		様々なコミュニティへの参加促進						就業意識の形成 (支援される側から、サービスを提供する側へ)			
面談	障がい学生との顔合わせ		→						進路等に関するヒアリングを経て、障がい学生担当のアドバイザーが個別相談			

障がい学生支援体制

学生支援機構の4つのセンター（学生生活支援、保健、カウンセリング、キャリア）で連携、情報の共有を図りながら、個々の状況に応じた支援を実施しています。

また、学生が所属する学部・研究科との連携も図り、より効果的な支援を実施します。さらに、障がい学生支援室では障がい者支援を目的にした、公的な機関や地域との連携、情報共有を図ります。



■学生支援機構内の問い合わせ先

今出川校地

学生支援センター今出川校地学生支援課 学生支援係

TEL. (075) 251-3270 FAX. (075) 251-3099

ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

学生生活課 今出川奨学・生活係

TEL. (075) 251-3281 FAX. (075) 251-3083

ji-kose@mail.doshisha.ac.jp

室町キャンパス 寒梅館1階

キャリアセンター

TEL. (075) 251-3310 FAX. (075) 251-3067

ji-shsk8@mail.doshisha.ac.jp

室町キャンパス 寒梅館2階

カウンセリングセンター

TEL. (075) 251-3275 FAX. (075) 251-3127

ji-sodan@mail.doshisha.ac.jp

室町キャンパス 寒梅館1階

保健センター

TEL. (075) 251-3100 FAX. (075) 251-3063

ji-hoken@mail.doshisha.ac.jp

室町キャンパス 寒梅館2階

京田辺校地

学生支援センター京田辺校地学生支援課 学生支援係

TEL. (0774) 65-7021 FAX. (0774) 65-7024

jt-shien@mail.doshisha.ac.jp

学生生活課 京田辺奨学・生活係

TEL. (0774) 65-7435 FAX. (0774) 65-7024

jt-sektu@mail.doshisha.ac.jp

副業館1階

キャリアセンター

TEL. (0774) 65-7016 FAX. (0774) 65-7017

jt-shsk8@mail.doshisha.ac.jp

副業館1階

カウンセリングセンター

TEL. (0774) 65-7415 FAX. (0774) 65-7485

jt-sodan@mail.doshisha.ac.jp

知真館1号館南東角

保健センター

TEL. (0774) 65-7390 FAX. (0774) 65-7389

jt-hoken@mail.doshisha.ac.jp

厚生館保健センター

ランチタイム手話

開講期間中、毎週ランチタイムに両校地で楽しく手話でのおしゃべりと、勉強の場を設けています。どなたでも参加して頂けますので、気軽に各校地障がい学生支援室にお立ち寄りください。

キリスト教文化センター オープン・プログラム

京田辺校地・キリスト教文化センター Tel : 0774-65-7370 E-mail : jt-kirib@mail.doshisha.ac.jp

通年 点訳入門編
手話入門

今出川校地・キリスト教文化センター Tel : 075-251-3320 E-mail : ji-kirib@mail.doshisha.ac.jp

通年 点訳入門編
点訳応用編
手話教室－入門－
手話教室－応用－



各学期前にキリスト教文化センター事務局まで来室のうえ直接申し込みをしてください。

オープン・プログラムでは多様なジャンルの講座を行っています。
最新の開講講座についてはキリスト教文化センター HP をご覧ください。
<http://www.christian-center.jp/openprogram/>



複合領域科目のご案内

(登録日程など詳細は「履修要項・登録要領・シラバス」をご覧ください)

科目名 「コミュニケーションのバリアフリー」を考える－共に生きる社会をめざして－

概要 大学内で共に学んでいる障がい学生を取り巻く状況・実情を踏まえつつ、さまざまな障がいがある学生の講義保障の実際を理解し、「コミュニケーション」と「バリア」をキーワードとして、障がい学生と彼らを支援するスタッフ双方の気付きに着目しながら、自律的な成長の実現を目指す。

時間 夏期集中科目

場所 同志社大学 今出川校地



京田辺校地



今出川校地



入学式の手話通訳と パソコン通訳に ついて

聴覚に障がいのある学生・ご家族のため、**入学式では手話通訳とPC通訳**を実施しています。また、視覚に障がいのある学生・ご家族のためには、希望があれば**点字の式次第**を準備いたしますので入学式の前月上旬までに障がい学生支援室までご連絡ください。



～障がい学生支援制度に関する申込み・問い合わせ先～

学生支援センター 障がい学生支援室

公式HP (<http://challenged.doshisha.ac.jp/>) Office of Student Disability Services

障がい学生支援室では専属のコーディネーターが常駐しており、障がいのある学生の学生生活支援を行っています。お気軽にお越しください。

■京田辺校地 網業館 1階

〒610-0394 京田辺市多々羅都谷 1-3
Tel 0774-65-7411 / Fax 0774-65-7024
E-mail : jt-care@mail.doshisha.ac.jp

■今出川校地 室町キャンパス 寒梅館 1階

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売西入御所八幡町103
Tel 075-251-3273 / Fax 075-251-3099
E-mail : ji-care@mail.doshisha.ac.jp

■今出川校地 今出川キャンパス 待辰館 1階

Tel 075-251-3261 / Fax 075-251-3299

■開室時間 平日：9:00～17:00 (11:30～12:30 閉室)

* 休暇中は開室時間が異なりますのでHP・掲示板でご確認ください。